

環境活動レポート

取組期間： 2023年10月1日～2024年9月30日



発行日：2025年1月

ADK ADK富士システム株式会社

本社 : 〒010-0851 秋田県秋田市手形字山崎110番地3
DXセンター : 〒010-0865 秋田県秋田市手形新栄町7番47号
七曲開発センター : 〒019-2611 秋田県秋田市河辺戸島字七曲台315番地
(ADKビジネスパートナー(株)含む)
豊田事業所 : 〒191-8502 東京都日野市富士町1番地 東京工場内 東5-32

目次

1. 環境方針	-3-
＜基本理念＞	-3-
＜行動指針＞	-3-
2. 組織の概要	-4-
(1) 事業所名及び代表者名	-4-
(2) 所在地	-4-
(3) 環境管理責任者及び環境事務局	-4-
(4) 連絡先	-4-
(5) 事業の概要	-5-
(6) 事業の規模	-5-
3. 対象範囲と対象取組期間	-6-
(1) 認証・登録の対象範囲図	-6-
(2) 環境活動レポートの対象取組期間	-6-
4. 環境目標	-7-
(1) 環境目標項目の選定	-7-
(2) 環境目標設定(基準年・短期・中期目標値)	-7-
5. 主な環境活動計画	-8-
(1) 二酸化炭素排出の削減	-8-
(2) 廃棄物排出量削減	-9-
(3) 排水量の削減	-9-
6. 環境目標の実績(2022.10～2023.9)	-10-
(1) 二酸化炭素排出量	-10-
(2) 廃棄物排出量	-12-
(3) 排水量	-12-
7. 環境活動の取組評価	-13-
8. 次年度の取組内容	-15-
9. 内部監査	-16-
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無	-16-
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	-17-
12. その他環境活動の紹介	-18-
(1) 地域活動	-18-
(2) エコキャップ推進活動	-18-
(3) エコドライブ宣言事業所	-18-
(4) 「あきたEネ！オプション水力100%」	-18-

1. 環境方針

＜基本理念＞

エイデイケイ富士システム株式会社は、ますます深刻化する地球温暖化など、地球規模の環境問題への対応が人類共通の重要課題であるとの認識に立ち、企業・地域のIT化への貢献に係る事業活動において、環境負荷の低減を図るために自主的・積極的に環境保全活動に取り組んでまいります。また、情報産業の担い手としてICT(情報通信技術)を駆使した環境ソリューションを提供し、広く皆様にご利用いただくことで地球環境問題に取り組んでまいります。

＜行動指針＞

1. 地球温暖化防止のために、二酸化炭素の排出削減を推進します。
…低炭素社会への対応
2. 限りある資源の有効活用のため、廃棄物削減と資源の有効利用を推進します。
…循環型社会への対応
3. 水の適正な利用・適正な排水処理に努めます。
4. これまで培った情報化技術を生かして、環境に配慮した製品の開発、販売を推進し、社会へ貢献します。
5. 地域での環境保全活動への積極的な参加など、地域貢献に努めます。
6. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
7. 環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。
8. 環境経営システムの適切な維持管理に努め、継続的な改善を図ります。

平成29年12月11日
エイデイケイ富士システム株式会社

代表取締役 齋藤 和美

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

- エイデイケイ富士システム株式会社
- 代表取締役 齋藤 和美

(2) 所在地

- 本社 : 〒010-0851 秋田県秋田市手形字山崎110番地3
- DXセンター : 〒010-0865 秋田県秋田市手形新栄町7番47号
- 七曲開発センター : 〒019-2611 秋田県秋田市河辺戸島字七曲台315番地
(ADKビジネスパートナー(株)含む)
- 豊田事業所 : 〒191-8502 東京都日野市富士町1番地 東京工場内 東5-32

(3) 環境管理責任者及び環境事務局

- 環境管理責任 : 金子 卓也
- 環境事務局 : 企画部

(4) 連絡先

【本社】

- TEL : 018-835-5404
- FAX : 018-832-6078

【DXセンター】

- TEL : 018-838-1173
- FAX : 018-838-7113

【七曲開発センター】

- TEL : 018-882-2016
- FAX : 018-882-2019

【豊田事業所】

- TEL : 042-581-3112
- FAX : 042-581-3114

(5) 事業の概要

- システム開発
- クラウドサービス
- ソリューションサービス
- コンサルティングサービス
- IT関連機器販売
- 情報インフラ構築

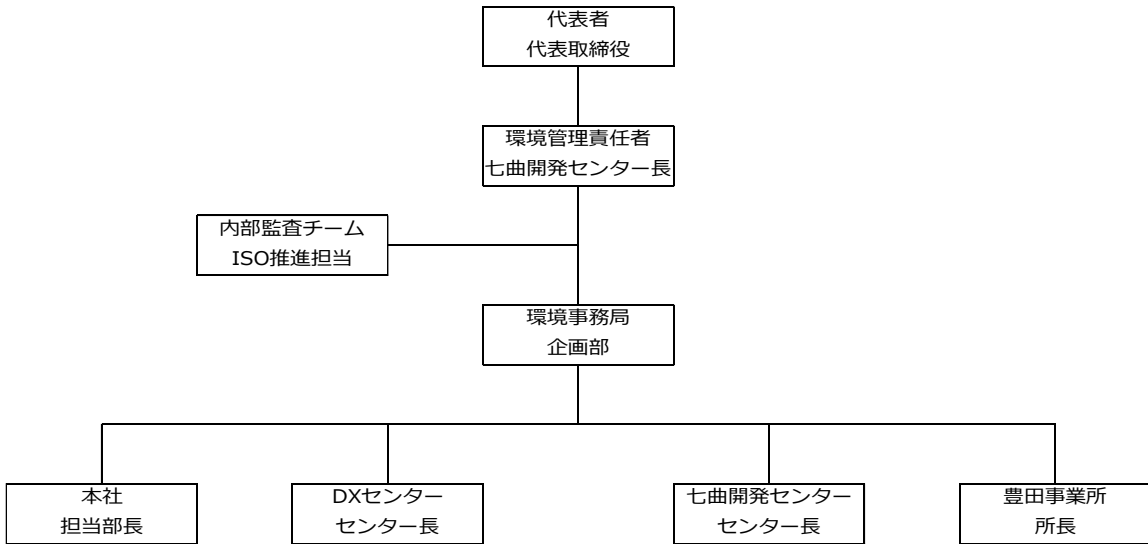
(6) 事業の規模

- 創立:1982年(昭和57年)1月 (9月決算)
- 資本金:8,000万円
- 売上高、従業員数、床面積:

	単位	2021年度 (2021/10~2022/9)	2022年度 (2022/10~2023/9)	2023年度 (2023/10~2024/9)
売上高	万円	186,200	202,000	203,000
社員数	人	133	148	140
床面積	m ²	合計	1,622	1,622
		本社	77	77
		DX センター	722	722
		七曲 開発センター	693	693
		豊田 事業所	130	130

3. 対象範囲と対象取組期間

(1) 認証・登録の対象範囲図



環境経営システム 役割・責任・権限表	
	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
本社 環境担当者	・自事業所における環境経営システムの実施 ・自事業所における環境方針の周知
DXセンター 環境担当者	・自事業所の従業員に対する教育訓練の実施 ・自事業所に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
七曲開発センター 環境担当者	・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自事業所の特定された緊急事態への対応のための手順書作成
豊田事業所 環境担当者	・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自事業所の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(2) 環境活動レポートの対象取組期間

2023年10月1日～2024年9月30日 次回確定版発行予定：2025年12月頃

4. 環境目標

(1) 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック並びに環境方針との整合性を図り、下記項目について、環境目標を設定しました。

- 電力使用量の削減
- ガソリン使用量の削減
- 灯油使用量の削減
- 排水量の削減
- 廃棄物排出量の削減

(2) 環境目標設定(基準年・短期・中期目標値)

基準値は2022年10月～2023年9月の実績値として

短期目標並びに中長期目標を下記のように設定しています。

※設備状況等により見直しが必要とした場合は見直しを行います。

コア目標	環境目標項目		【基準年度】 2023年度(39期) (2022/10-2023/9)	【1年目】 2024年度(40期) (2023/10-2024/9)		【2年目】 2025年度(41期) (2024/10-2025/9)		【3年目】 2026年度(42期) (2025/10-2026/9)		【中期目標】 2024年度-2026年度 (2023/10-2026/9)	
二酸化炭素	電力削減	全体	225,472 kWh	-3.7%	217,103 kWh	-5.6%	212,880 kWh	-5.6%	212,880 kWh	-5.0%	642,863 kWh
		(内訳) 本社	18,718 kWh	-1.0%	18,531 kWh	-1.0%	18,531 kWh	-1.0%	18,531 kWh	-1.0%	55,593 kWh
		(内訳) 手形	71,859 kWh	-2.0%	70,422 kWh	-6.0%	67,547 kWh	-6.0%	67,547 kWh	-4.7%	205,517 kWh
		(内訳) 七曲	134,895 kWh	-5.0%	128,150 kWh	-6.0%	126,801 kWh	-6.0%	126,801 kWh	-5.7%	381,753 kWh
	ガソリン削減	全体	10,862 L	-13.7%	9,377 L	-17.6%	8,948 L	-17.6%	8,948 L	-16.3%	27,274 L
		(内訳) 本社	524 L	0.0%	524 L	-12.0%	461 L	-12.0%	461 L	-8.0%	1,447 L
		(内訳) 手形	8,853 L	0.0%	8,853 L	-10.0%	7,967 L	-10.0%	7,967 L	-6.7%	24,788 L
		(内訳) 七曲	1,485 L	-100.0%	0 L	-65.0%	520 L	-65.0%	520 L	-76.7%	1,039 L
	灯油削減		1,102 L	-5.0%	1,047 L	-20.0%	882 L	-20.0%	882 kgCO ₂	-15.0%	2,810 L
	排水量		803 m ³	-5.0%	762 m ³	-5.0%	762 m ³	-5.0%	762 m ³	-5.0%	2,287 m ³
廃棄物	一般廃棄物削減		639 kg	-5.0%	607 kg	-5.0%	607 kg	-5.0%	607 kg	-5.0%	1,821 kg
	産業廃棄物削減		190 kg	0.0%	190 kg	0.0%	190 kg	0.0%	190 kg	0.0%	570 kg

5. 主な環境活動計画

(1) 二酸化炭素排出の削減

① 電力量の削減

- 各自節電意識
- 部分照明と昼休みの消灯
- 人の居ない部屋、人の居ないエリアの消灯実施
- クールビズとウォームビズ運動実施
- エアコンの室内温度(目安:冷房28℃、暖房20℃)の遵守
- 他人任せではなく自ら行動した温度調節の実施
- 未使用PCの電源
- PC節電効果についての理解徹底
- PC省電力設定

② 自動車燃料(ガソリン)の削減

- あきたゼロカーボンアクション宣言登録事業者登録

エコドライブ(引きつづき「あきたゼロカーボンアクション宣言登録制度」の中で推進)

1. ふんわりアクセル『eスタート』
2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
3. 減速時は早めにアクセルを離そう
4. エアコンの使用は適切に
5. ムダなアイドリングはやめよう
6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
7. タイヤの空気圧から始める点検・設備
8. 不要な荷物はおろそう
9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう
10. 自分の燃費を把握しよう

- 社用車使用の際、走行距離の記録実施

③ 灯油使用量の削減

- 定期的な灯油漏れチェック

(2) 廃棄物排出量削減

① 一般廃棄物のリサイクルの促進

- 一般廃棄物の計量ルール確立と計量の実施
- 会議時のペーパーレスの推進（プロジェクト使用の推進）
- 両面・割付印刷、コピーの徹底
- 資源ごみ(ビン・カン・ペット)の分別の徹底と業者回収
- エコキャップ推進運動
- コピー用紙の廃棄はリサイクルボックスへ入れる

② 産業廃棄物の削減

- 再利用(HDD、メモリ、電源、モニターetc.)するなどして極力産業廃棄物の排出を抑える
- こまめなメンテナンスを心掛け、機器を長持ちさせて廃棄物排出を抑える

(3) 排水量の削減

① 水道水の削減

- 節水運動（節水ステッカー貼り）
- 定期的な水漏れのチェック

6. 環境目標の実績(2023.10～2024.9)

取組対象期間(12ヶ月)における環境実績状況を報告します。

社有車を電気自動車へ変更、一部事業所の排出係数0電力契約のため、
2023年度報告から使用量で報告(2022年度報告までは排出量)

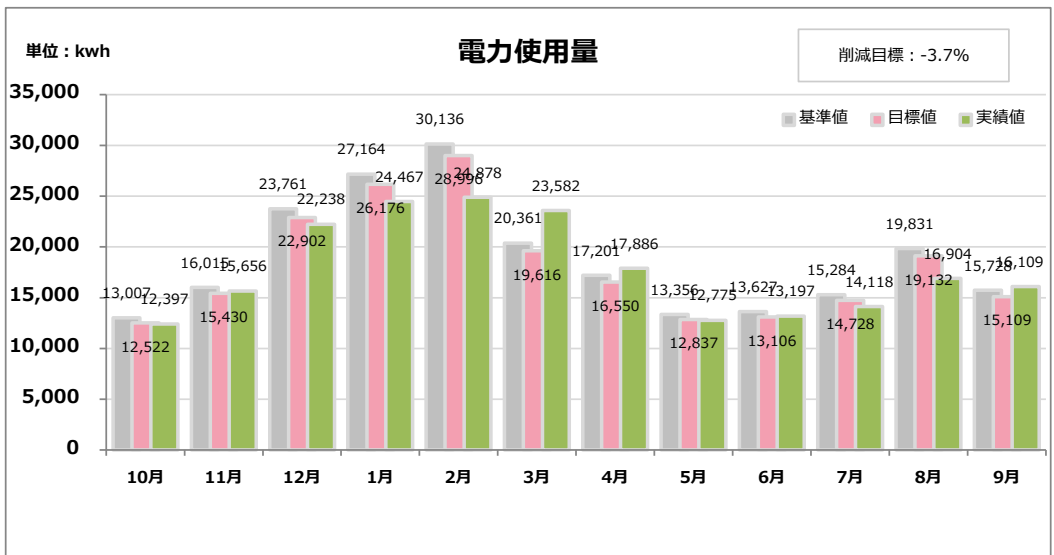
(1) 二酸化炭素排出(電力・ガソリン・ガス)

二酸化炭素排出量の結果は下記の通りです。

- ・電力使用量
- ・ガソリン使用量
- ・灯油使用量

項目	基準年度 実績	目標		実績			数値削減評価
		削減率	本年度	本年度	削減量	増減率	
電力使用量 (排出係数:0.496)	225,472 kWh	-3.7%	217,103 kWh	214,209 kWh	-11,263 kWh	-5.0%	○
ガソリン使用量 (排出係数:2.32)	10,862 L	-13.7%	9,377 L	9,028 kWh	-1,834 L	-16.9%	○
灯油使用量 (排出係数:2.489)	1,102 L	-5.0%	1,047 L	898 kWh	-204 L	-18.5%	○

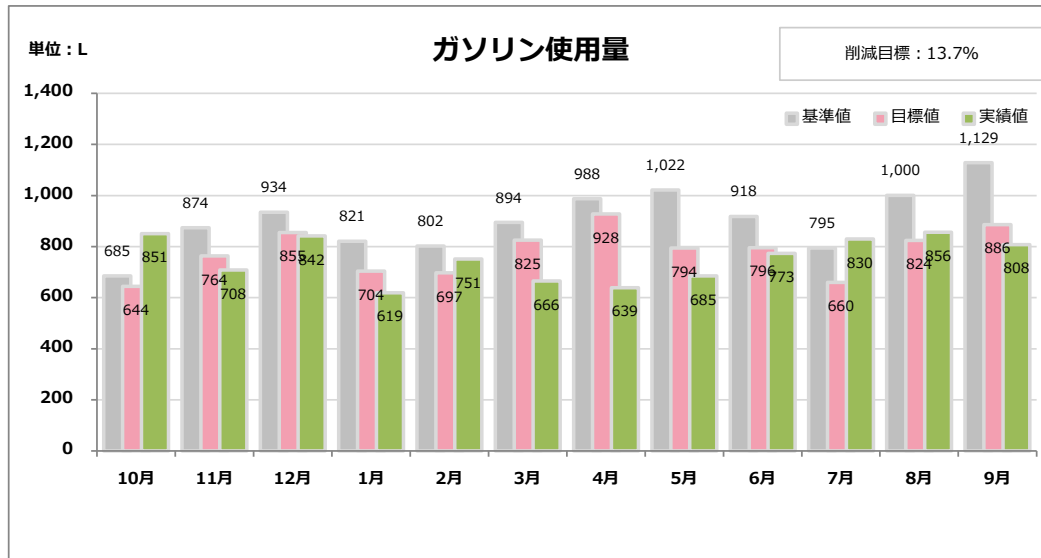
■ 月別電力使用量グラフ



※ グラフの単位は二酸化炭素量に変換する前の電力使用量(kwh)です。

基準年と比較すると1年を通しての平均温度はほぼ変わらないが、夏は低く、冬は高かった。そのため、冷暖房を例年より抑えれたのではないと思われる。
また、EV車、PHV車の充電による電力使用増加を想定していたが、基準年比較で使用機器減少(対基準平均291台⇒270台)、残業減少(金額は非公開)などがあった、その結果、目標値より下回ったと思われる。

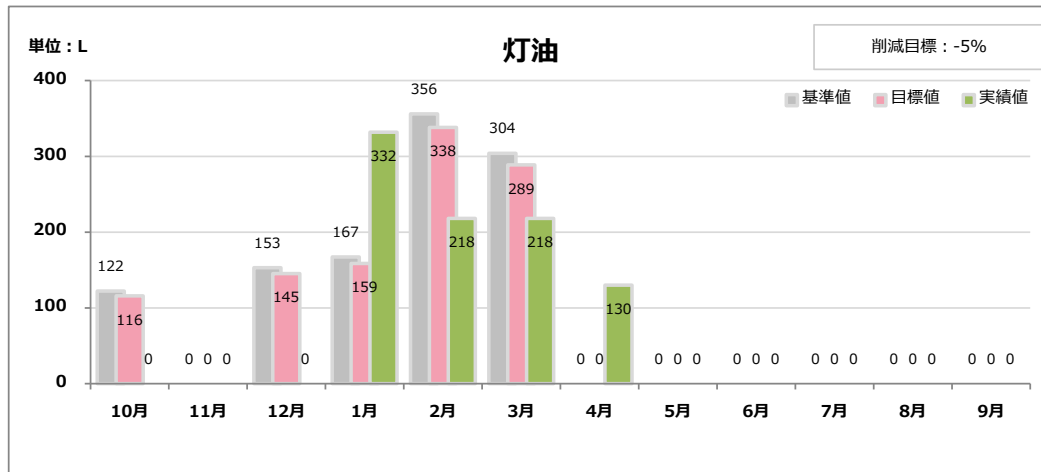
■ 月別ガソリン使用量グラフ



※ グラフの単位は二酸化炭素量に変換する前のガソリン使用量(L)です。

社有車がEV車1台、PHV車2台の運用となり、ガソリン使用する場面が少なくなった。
エコドライブ状況も個人単位で意識が高い。引き続きエコドライブを継続していきたい。

■ 月別灯油使用量グラフ



※ グラフの単位は二酸化炭素量に変換する前の灯油使用量(L)です。

灯油は事業所1か所のみの使用で削減できる場面は限られており、人数も各部屋ほぼ密集状態。現状では残業を減らすように仕事をするしか他ないと思われる。

(2) 廃棄物排出量(一般廃棄物・産業廃棄物)

廃棄物排出量の結果は下記の通りです。

- ・一般廃棄物
- ・産業廃棄物

項目	基準年度 実績	目標		実績			数値 削減 評価
		削減率	本年度	本年度	削減量	増減率	
一般廃棄物	639 kg	5.0%	607kg	683kg	44kg	6.9%	×
産業廃棄物	190 kg	0.0%	190kg	0kg	190kg	-100.0%	○

一般廃棄物増加の要因はペーパータオルの使用、物価高騰により弁当注文が減り、スーパー等のインスタントで使用される容器の増加など。
産業廃棄物は無し。

(3) 排水量

排出量の結果は下記の通りです。

- ・排水量

項目	基準年度 実績	目標		実績			数値 削減 評価
		削減率	本年度	本年度	削減量	増減率	
排水量	802.6 m³	5.0%	762.5m³	845.m³	42.4m³	5.3%	○

日々、水漏れチェック等を行い、もし水漏れがある場合は状況により応急処置や修理対応を行う。

7. 環境活動の取組評価

全社評価)「○」取り組んでいる / 「△」さらに取組が必要

区分	項目	取組内容	評価
二酸化炭素排出量削減	電力量の削減	① 節電運動展開(電源スイッチに節電ステッカー貼り)	○
		② 昼休みの消灯	○
		③ 部分照明(人の居ない部屋、人の居ないエリア)の消灯の実施	○
		④ クールビズ運動	○
		⑤ エアコン使用時の室内温度調整(冷房使用時28℃、暖房使用時20℃)	○
		⑥ 未使用PCの電源OFF	○
		⑦ PCの電力消費、節電効果について理解し、各自節電対策を実施(スリープの積極活用、ディスプレイの輝度調整など)	○
		⑧ 寒い、暑いと感じたら他人任せではなく、自ら行動	○
	自動車燃料(ガソリン)使用量削減	【秋田県エコドライブ宣言事業所に 準じたエコドライブ活動】	
		① ふんわりアクセル『eスタート』(最初の5秒で時速20キロを目安に)	○
		② 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転を	○
		③ 減速時は早めにアクセルを離そう	○
		④ エアコンの使用は適切に	○
		⑤ ムダなアイドリングはやめよう	○
		⑥ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう	○
		⑦ タイヤの空気圧から始める点検・設備	○
		⑧ 不要な荷物はおろそう	○
		⑨ 走行の妨げとなる駐車はやめよう	○
		⑩ 自分の燃費を把握しよう	○
		⑪ 社用車を使用する場合は走行距離の記録を必ず取りましょう	○
	灯油使用量の削減	① 定期的な灯油もレチェック	○
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減とリサイクルの促進	① 一般廃棄物の計量ルール確立と計量の実施	○
		② 会議時のペーパーレスの推進(プロジェクト使用の推進)	○
		③ 両面・割付印刷、コピーの徹底	○
		④ 資源ごみ(ビン・カン・ペット)の分別の徹底と業者回収	○
		⑤ エコキャップ推進運動	○
		⑥ 資料(コピー用紙)のリサイクル(業者回収)	○
	産業廃棄物の削減	① 使用可能部品の再利用	○
		② 機器寿命を延ばす為に定期的なメンテナンスの実施	○
削減排水	水道水の削減	① 節水運動(節水ステッカー貼り)	○
		② 定期的な水漏れのチェック	○

事業所長コメント

本社

冷房については、盛夏の時期も部分的にエアコンを使用するよう心掛け、28度温度設定し節電を行った。タイヤの空気圧はスタンドで点検を行っているが、運転前は目視。引き続き環境活動に意識を置いて、各自取り組んでいく

DXC

本活動は、意識しないレベルで実施できているが、要所要所での活動の意義含めて意識付けは必要。DXCセンターの設備が古い。今後、設備不具合の点検方法等の考慮が必要。

七曲

七曲の社有車はガソリン車からEV車へ変更となり、ガソリンが不要となった。
ガソリンを使わなくなったことにより電力使用増加も考えられたが、残業は昨年度より少なく、残業減少から節電へと繋がったと思われる。一部他事業所では使用機器減少の効果も効果が出ていると感じる。
(39期⇒40期の機器使用数月平均 本社 4台⇒5台、DXC 116台⇒88台、七曲 161台⇒167台)

豊田

原則としてFE東京工場のルールにも従い、環境活動を実施している。
節電(特に会議室使用後の消灯)やリサイクル促進の活動は日常的に実施できているため、朝礼等で定期的に再周知し、今後もBP含めて高いレベルを維持していく。

8. 次年度の取組内容

「！」は強く意識したい取組

区分	目標	取組内容
二酸化炭素排出量	電力使用量を減らす	① ！ 各自節電意識を心がけましょう。
		② 日中は出来る限り消灯し、昼休みは必ず消灯しましょう。
		③ 照明のこまめな消灯や間引き点灯をしましょう。
		④ クールビズ or ウォームビズ運動を実践しましょう。
		⑤ 冷暖房の管理(室内温度：夏28℃、冬19℃程度)しましょう。
		⑥ 未使用機器のプラグを抜きましょう。
		⑦ PCの電力消費、節電効果を理解し、各自節電対策を実施しましょう(スリープの活用、ディスプレイの輝度調整など) マイクロソフトの節電対策サイト： http://technet.microsoft.com/ja-jp/windows/gg715287
	ガソリン使用量を減らす	① ！ エコドライブを心がけましょう。
		(1) ふんわりアクセル「eスタート」
		(2) 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
		(3) 減速時は早めにアクセルを離そう
		(4) エアコンの使用は適切に
		(5) ムダなアイドリングはやめよう
		(6) 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
		(7) タイヤの空気圧から始める点検・設備
		(8) 不要な荷物はおろそう
		(9) 走行の妨げとなる駐車はやめよう
		(10) 自分の燃費を把握しよう
		② 社用車を使用する場合は走行距離の記録を必ず取りましょう(事務局が各車のデータを取り、分析します)
	灯油使用量を減らす	① クールビズ or ウォームビズ運動を実践しましょう。
		② 冷暖房の管理(室内温度：夏28℃、冬19℃程度)しましょう。
		③ ！ 寒い、暑いと感じたら他人任せではなく、自ら行動しましょう。
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減とリサイクルの促進をする	① 廃棄物の量を把握する為に全て計量します。大量にゴミが発生する場合は企画部にご連絡下さい。
		② ！ 会議時のペーパーレスを実施しましょう(web会議、プロジェクター使用の推進)
		③ 両面・割付印刷、コピーの徹底を実施し、コピー用紙の使用低減を心がけましょう。
		④ 資源ごみ(ビン・カン・ペット)は確実に分別して廃棄しましょう。
		⑤ ペットボトルのキャップの回収にご協力下さい。
		⑥ コピー用紙の廃棄は、リサイクルボックスへ廃棄しましょう。 廃棄資料(コピー用紙)はリサイクルの為、業者回収を実施しています。
	産業廃棄物排出を減らす	① 使用可能な部品(モニタ、HDD、メモリ、電源ユニット、配線etc.)は再利用を心がけましょう
		② 機器の寿命を延ばす為にこまめにメンテナンスをしましょう
	排水量を減らす	① ！ 蛇口をこまめに閉めましょう。
		② 漏水がないかの点検しましょう(最終退場チェック)。水漏れ等を発見したら企画部までご連絡願います。

9. 内部監査

毎年4月にエコアクション21の内部監査を実施しています。
 代表者、環境管理責任者、環境事務局、他事業所長にエコアクション21の要求事項や自社が決めたルールを満たしているかチェックを実施しました。結果は全て不適合無しという結果です。

10. 環境関連法規等の状況の遵守確認及び違反、訴訟の有無

過去3年間違反はありません。
 関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは外部からの訴訟もありません。

整理番号	区分	施設等の名称	有無	規模・能力、基数	用途	備考
1	共用施設	ボイラ				
2		温風機				
3		クーリングタワー				
4		エアコン室外機	○	k w、 42		本社：10 / DX：11 / 七曲：21
5		オイルバーナー				
6		送風機				
7		空気圧縮機				
8		圧縮機				
9		ディーゼル機関				
10						
11						
12						
13	廃棄物関係	ごみ置き場 燃えるゴミ	○	容器： 容器の大きさ ℓ	業者引き取りまで倉庫に保管	
14		不燃ごみ	○		業者引き取りまで倉庫に保管	
15		アルミ缶	○		アルミ、ペット、ビンは業者回収	
16		鉄くず				
17		木くず				
18						
19		産業廃棄物	△	コンテナ、倉庫、物置 m x m h = ○	必要時に業者からコンテナを運んでもらう	
20						
21						
22		燃料 灯油	○	490型		DX：1台
23	燃料関係	都市ガス				
24		L P G				
25						
26						
27		車輛 営業車	○	ガソリン車、ディーゼル車 台数 8		本社：2台 / DX：5台 / 七曲：1台
28		トラック				
28		ダンプ				
29						
30	用水・排水関係	水 上水道、地下水、その他	○			
31		生活系排水 下水道	○			
32		浄化槽	○	57 人槽 基数 1		七曲
33		し尿 汲取り				
34		事業系排水 洗車施設				
35		その他				
36						
37						
38	その他					
39						
40						
41						
42						
43						

環境関連法規等に基づく許可、認可、登録、届出、調査表等

	法令等の名称	許可等の種類
1	浄化槽法	浄化槽設置届出 検査報告書
2		
3		
4		
5		

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

EA21活動について、投資・社内活動などが、事業活動も含め活動系計画の数値面で成果がみてとれるので、評価に値する。

なお、全社活動として取り組むにあたって、現状に満足することなく、普段からの創意工夫や改善の継続は必要なので、事務局は自らの意識を高めること(マンネリ化しないこと)

今後もSDGSにも結び付けた活動を期待する。

12. その他環境活動の紹介

(1) 地域活動

七曲開発センターは「七曲臨空港工業団地」内で操業しており、この工業団地内の企業で組織される「七曲工業団地連絡協議会」に参加しています。

弊社は「七曲工業団地連絡協議会」の活動を通して「アジサイ植樹」「除草作業」「七曲運動公園美化活動」「不法投棄パトロール」などの運動に参加し、地元の緑化、清掃活動に協力しております。

(2) エコキャップ推進活動

当社では2010年8月よりエコキャップ専用の回収BOXを設置し、定期的にエコキャップをリサイクル事業団へ提供を行っています。ペットボトルのキャップから出来るエコ、ペットボトルの小さなキャップで何が出来るかを考え、限られた資源の有効活用をしています。

なお、今年度(2023年10月～2024年9月)提供したエコキャップは31.9kgでした。

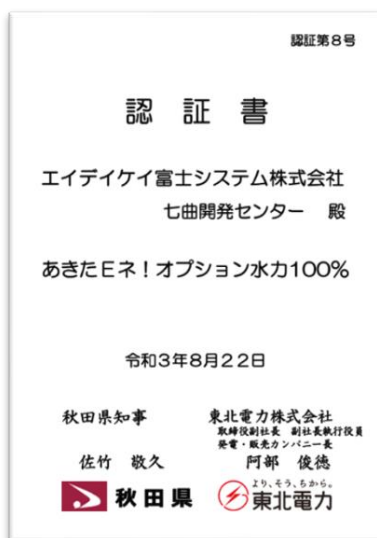
(3) エコドライブ宣言事業所

秋田県のエコドライブ宣言事業所に登録し、エコドライブの取組を促進し温室効果ガス排出量削減して努めています。

(4) 排出係数0「あきたEネ！オプション水力100%」「グリーンプラス」

秋田県および東北電力株式会社が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」への加入を通じて、2021年8月22日より、七曲開発センターにおいて地元秋田のCO2排出量ゼロの電気の使用を開始いたしました。

また、同様にDXセンターもCO2排出量ゼロの電力(グリーンプラス)の使用を開始いたしました。



七曲開発センター(七曲)



DXセンター(手形)



DXセンター(手形)

この環境活動レポートはご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は下記窓口へご連絡下さい。
また、エコアクション21中央事務局の
ホームページ(<http://www.ea21.jp/index.html>)
及び弊社ホームページでもご覧頂けます。

エイデイケイ富士システム株式会社
<http://www.adf.co.jp/>

本社：〒010-0851 秋田県秋田市手形字山崎110番地3
TEL:018-835-5404
FAX:018-832-6078

七曲：〒019-2611 秋田県秋田市河辺戸島字七曲台315
TEL:018-882-2016
FAX:018-882-2019